

2026/04/17 (予定)

機能追加

マスターを「無効」扱いにしたい 他 38 件

Ver.260331

全般

マスターを「無効」扱いにしたい

各マスターに有効期間を追加しました。

伝票日付が有効期間外のマスターは、伝票への入力できません。また、伝票の検索画面にも表示されません。

なお、管理資料では、有効期間が集計期間と重複していない場合でも、繰越残数がある、または集計期間内に伝票が登録されているマスターは集計対象となります。

対応メニュー

- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/職種] メニュー（『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』または『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』または『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
- [法人情報 - 担当者 - 担当者] メニュー
- [法人情報 - 倉庫 - 倉庫] メニュー
- [取引先管理 - 仕入先 - 仕入先] メニュー
- [取引先管理 - 得意先 - 得意先] メニュー
- [取引先管理 - 直送先 - 直送先] メニュー
- [商品管理 - 商品 - 商品] メニュー

オリジナルフォーム

フォント・フォントサイズの初期値を設定したい

フォームの編集画面の [フォーム設定] ボタンをクリックし、[フォーム設定] 画面の [初期値] ページで、フォント（フォント・サイズ・色）・線の書式（色・太さ・塗りつぶし）の初期値を設定できるようになりました。

対応メニュー

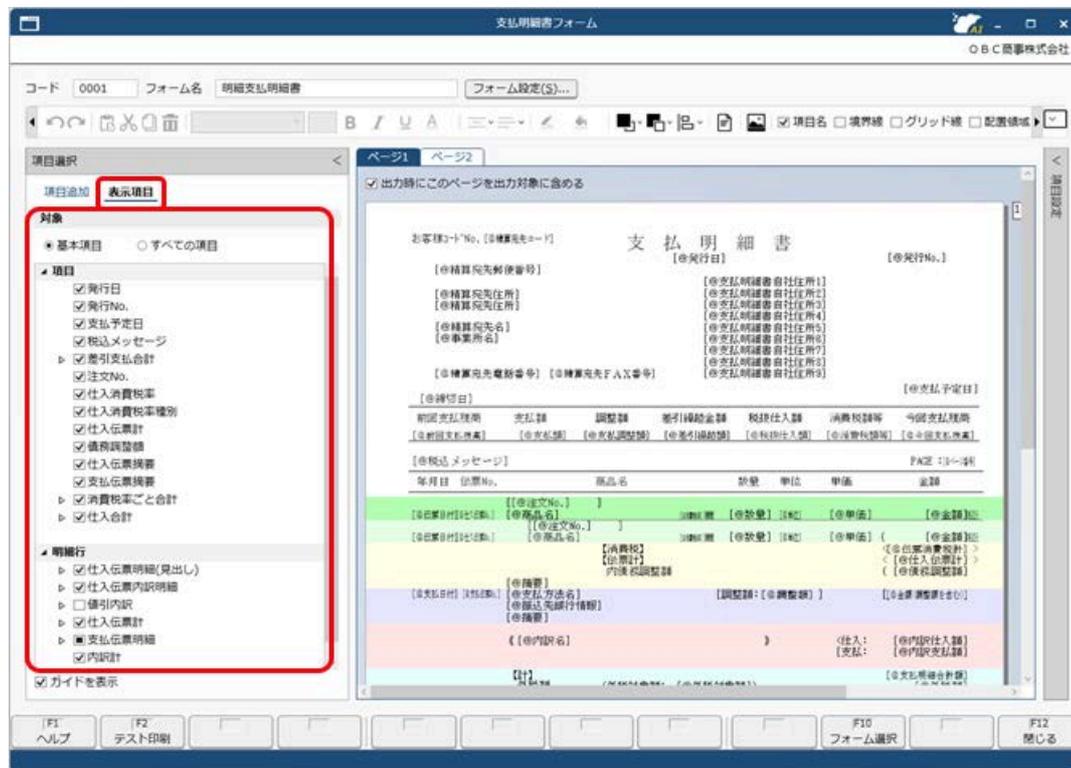
メインメニュー右上の （設定）から [オリジナルフォーム] メニュー

支払明細書フォームで、出力する項目を簡単に設定したい

フォームの編集画面の左側にある [表示項目] ページに、基本的な項目だけが表示されるようになりました。

設定したい項目をスムーズに見つけ、項目のチェックを付け外しすることで、フォーム上のイメージを確認しながら出力

する／しないを切り替えできます。



- 対象で「すべての項目」を選択し、すべての項目を表示することもできます。
- この変更に伴い、[\[オリジナルフォーム\]メニュー](#)のすべてのメニューで、フォームの編集画面のページ名が以下のとおり変更されました。
変更前 [配置済み項目] ページ 変更後 [表示項目] ページ

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム - 支払明細書フォーム] メニュー

仕入先元帳フォームで、余白は罫線なしにしたい

仕入先元帳フォームに以下のテンプレートが追加されました。

このテンプレートで作成したフォームで印刷することで、最終明細行で罫線の印字を止め、余白は罫線なしにできます。

- 単票元帳 A 4 罫線付 (最終明細まで)
- 単票元帳 A 4 罫線付 (伝票単位用、最終明細まで)

対応メニュー

メインメニュー右上の  (設定) から [オリジナルフォーム - 仕入先元帳フォーム] メニュー

法人情報

『勘定奉行クラウド』の科目を複写する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』に登録されている科目を複写し、当サービスに登録できるようになりました。『勘定奉行クラウド』で科目を追加した場合に便利な機能です。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 仕入管理科目] メニュー

『勘定奉行クラウド』から複写したマスターの仕訳コードを自動で登録する機能を追加

勘定奉行

『勘定奉行クラウド』のマスターを複写して当サービスに登録した際に、仕訳コードが自動で登録されるようになりました。

対応メニュー

- [法人情報 - 規程 - 仕入管理科目] メニュー
- [法人情報 - 規程 - 仕入管理補助科目] メニュー
- [法人情報 - 部門 - 部門] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー
- [法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー（『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』または『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』または『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）
- [取引先管理 - 仕入先 - 仕入先] メニュー

『奉行クラウド』のサービスごとに管理している部門やプロジェクトを一元管理したい

奉行V ERP

新たに、「部門」「プロジェクト」「工程/工種」を、『蔵奉行V ERPクラウド』『債権奉行V ERPクラウド』『債務奉行V ERPクラウド』などで統合して一元管理できるようになりました。

外部サービスも統合マスターとして管理できるようになります。

統合マスター管理の詳細は、目的から探す「[統合マスター管理とは](#)」をご参照ください。

「部門」については、『総務人事奉行クラウド』をご利用の場合、『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合することもできます。

詳細は、目的から探す「『総務人事奉行クラウド』の部門を基準に統合する」をご参照ください。

追加メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [部門 - 統合部門] メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [部門 - 外部マスター管理[部門]] メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [プロジェクト - 統合プロジェクト] メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [プロジェクト - 外部マスター管理[プロジェクト]] メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [工程 - 統合工程] メニュー

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [工程 - 外部マスター管理[工程]] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[法人情報 - 部門 - 部門] メニュー

[法人情報 - プロジェクト - プロジェクト] メニュー

[法人情報 - プロジェクト - 工程/工種] メニュー（『債権奉行クラウド』または『債務奉行クラウド』または『奉行Edge 発行請求書DXクラウド』または『奉行Edge 受領請求書DXクラウド』をご利用の場合）

メインメニュー右上の（統合マスター管理）から [統合マスター設定] メニュー

伝票の摘要の初期値を、代入項目を使って設定できるようにしたい

[伝票摘要設定] メニューが追加され、伝票や支払情報の摘要の初期値をまとめて設定できるようになりました。

代入項目を使って、リレー元伝票や仕入先などの情報を摘要・備考に自動でセットできます。

摘要の初期値を設定することで、伝票などで毎回摘要を手入力する手間が省けます。

詳細は、メニューから探す「伝票摘要設定」をご参照ください。

追加メニュー

[法人情報 - 摘要 - 伝票摘要設定] メニュー

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

対応メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票] メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

[在庫管理 - 入荷処理 - 納入予定] メニュー（『入出荷管理オプション』をご利用の場合）

[在庫管理 - 入荷処理 - 入荷伝票] メニュー

[在庫管理 - 出荷処理 - 出荷指示] メニュー（『入出荷管理オプション』と『商奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 出荷処理 - 出荷伝票] メニュー

[在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替伝票] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 振替処理 - 倉庫振替 - 倉庫振替伝票] メニュー

[在庫管理 - 振替処理 - 荷姿振替 - 荷姿振替伝票] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 振替処理 - 他勘定振替 - 他勘定振替伝票] メニュー

[在庫管理 - 振替処理 - 預り品振替 - 預り品振替伝票] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 債務伝票] メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 支払情報] メニュー

[債務管理 - 支払処理 - 支払伝票] メニュー

上記の伝票が登録されるすべてのメニュー

商品管理

ロットの最大登録件数の上限を撤廃

奉行V ERP

ロットの最大登録件数の上限を撤廃し、無制限に登録できるようになりました。

対応メニュー

[商品管理 - ロット - ロット] メニュー

価格管理

【価格計算式】メニューが独立

[【価格】メニュー](#)の [条件設定] 画面で設定していた価格計算式が、メニューとして独立しました。

追加メニュー

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[仕入]] メニュー

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[在庫]] メニュー

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[生産]] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[価格管理 - 取引単価 - 価格計算式[分解]] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

仕入管理

発注確定／仕入確定／構成品進捗振替／生産確定／荷姿補充振替がメニューとして独立

メニュー内にあったファンクションから、以下のメニューが独立しました。

- [【発注伝票】メニュー](#)内の [F2：発注確定] は、[発注確定] メニューとして独立しました。
- [【仕入伝票】メニュー](#)内の [F2：仕入確定] は、[仕入確定] メニューとして独立しました。
- [【構成品振替伝票】メニュー](#)内の [F2：更新] は、[構成品進捗振替] メニューとして独立しました。また、[F2：更新] は [F2：構成品進捗振替] に名称が変更されました。
- [【構成品振替伝票】メニュー](#)内の [F11：生産確定] は、[生産確定] メニューとして独立しました。
- [【荷姿振替伝票】メニュー](#)内の [F6：振替検討] は、[荷姿補充振替] メニューとして独立しました。また、[F2：振替検討] は [F2：荷姿補充振替] に名称が変更されました。

なお、これまで通りファンクションも引き続き利用できます。

追加メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注確定] メニュー（『商奉行クラウド』をご利用の場合）

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入確定] メニュー

[在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品進捗振替] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 生産確定] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用で、かつ『商奉行クラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 振替処理 - 荷姿振替 - 荷姿補充振替] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

追加メニューが表示されない場合は、[こちら](#)をご参照ください。

伝票や明細表で、入荷・仕入や精算締め・銀行振込などの処理状況を確認したい

入荷・仕入や、精算締め・銀行振込などの伝票の処理状況が、[\[仕入伝票\]メニュー](#)や[\[仕入明細表\]メニュー](#)などにアイコンで表示されるようになりました。

また、[\[仕入明細表\]メニュー](#)などの帳票では、未処理・処理中の伝票件数を確認し、次の処理をするメニューへ直接ジャンプすることもできます。

処理状況を一覧で確認できるため、処理が必要な伝票を見つけやすくなり、次の処理をスムーズに始められるようになりました。

● 発注伝票

「入荷状況」・「仕入状況」などを示すアイコンが明細に表示されるようになりました。

行	仕入区分	商品コード	仕入取引	入数	数量	単価	金額	納品期日
1	仕入	K-10001	仕入	1	10	65,000	課税 650,000	年 4月 8日
2	仕入	O-10016	仕入	1	20	16,000	課税 320,000	年 4月 10日
3								

● 仕入伝票・債務伝票・支払伝票

伝票の締めや銀行振込が済んでいる場合に、「締め済」・「振込済」アイコンが伝票の上部に表示されるようになりました。

また、「転記済」・「支払済」アイコンが、仕入伝票にも表示されます。

行	仕入区分	商品コード	仕入取引	入数	数量	単価	金額	備考
1	仕入	K-10002	仕入	1	23	14,000	課税 322,000	
2								

● 発注明細表・仕入明細表・債務明細表・支払一覧表

以下の項目を表示できるようになりました。

発注明細表	入荷状況・仕入状況 『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、「納入予定状況」も表示されます。
仕入明細表	転記状況・精算締め状況・支払状況・振込状況
債務明細表・支払一覧表	転記状況・精算締め状況・振込状況



1. 「○○状況」項目には、処理状況を示すアイコンが表示されます。
各項目は、[条件設定] 画面の [出力] ページの出力項目で追加します。
「転記状況」に表示されるアイコンについては、目的別記事「[仕訳伝票の転記状況（連携・作成の状況）を確認する](#)」をご参照ください。
2. 画面上の「○○状況」項目に応じて、未処理や処理中の件数が表示されます。
件数をクリックすると、次の処理をするメニューヘジャンプできます。
3. [F6：伝票] をクリックすると、処理済の伝票を確認できるメニューが一覧で表示されますので、確認したい伝票のメニューヘジャンプできます。
4. 項目の絞り込みやソートができます。

対応メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票] メニュー
 [仕入管理 - 発注処理 - 発注明細表] メニュー
 [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー
 [仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表] メニュー
 [債務管理 - 精算処理 - 債務伝票] メニュー
 [債務管理 - 精算処理 - 債務明細表] メニュー
 [債務管理 - 支払処理 - 支払伝票] メニュー
 [債務管理 - 管理帳票 - 支払一覧表] メニュー

メインメニュー右上の (データメンテナンス) から [汎用データ作成] メニューの以下のメニュー

[仕入管理 - 発注伝票データ作成] メニュー
 [仕入管理 - 仕入伝票データ作成] メニュー
 [債務管理 - 債務伝票データ作成] メニュー
 [債務管理 - 支払伝票データ作成] メニュー

帳票に雑仕入・雑費・運賃を集計したい

仕入集計表などの帳票で、[条件設定] 画面の [出力] ページにある出力項目から「雑仕入額」「雑費額」「運賃額」を選択して出力できるようになりました。「雑仕入額」「雑費額」「運賃額」には、仕入区分「9：雑仕入」および、今回追加された仕入区分「91：雑費」「92：運賃」で登録した金額が集計されます。

また、総仕入高や純仕入高について、仕入区分「9：雑仕入」「91：雑費」「92：運賃」の金額を含めるかどうかを選択できます。

なお、仕入区分「9：雑仕入」「91：雑費」「92：運賃」の名称は、[\[運用設定\] メニュー](#)の [基本] ページの仕入調整で変更できます。「雑仕入」を集計する場合は、仕入調整 1 名称を「その他」から「雑仕入」に変更します。

対応メニュー

[法人情報 - 規程 - 仕入管理規程] メニュー
 [法人情報 - 規程 - 購入処理区分] メニュー
 [商品管理 - 構成品 - 構成品] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）
 [商品管理 - セット商品 - セット商品] メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票] メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 発注集計表] メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入集計表] メニュー

[仕入管理 - 分析帳票 - 発注推移表] メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[仕入管理 - 分析帳票 - 仕入推移表] メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[仕入管理 - 分析帳票 - ABC分析] メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[仕入管理 - 分析帳票 - 行列表] メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 入荷処理 - 納入予定] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 振替処理 - 構成品振替 - 構成品振替伝票] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

メインメニュー右上の（設定）から [運用設定] メニュー

一括でリレーする際にリレー元の伝票を一覧で確認したい

一括でリレーする際に、リレー元の伝票を一覧で確認できるようになりました。

また、画面右上の（左右分割）や（上下分割）をクリックすることで、画面の表示を上下分割表示と左右分割表示で切り替えられるようになりました。

対応メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

[在庫管理 - 入荷処理 - 納入予定] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 出荷処理 - 出荷指示] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

摘要明細だけの伝票を登録したい

仕入区分が「4：摘要」の明細だけで、発注伝票・仕入伝票を登録できるようになりました。

また、セット商品も、明細区分が「4：摘要」の明細だけで登録できます。

仕入区分が「4：摘要」の明細だけの伝票は、以下の処理ができます。

- 注文書・支払明細書への出力
- 発注明細表・仕入明細表・仕入先元帳などでの確認
- 発注伝票から仕入伝票へのリレー入力

対応メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注伝票] メニュー

[仕入管理 - 発注処理 - 発注明細表] メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入明細表] メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 発注集計表] メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入集計表] メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳] メニュー

[仕入管理 - 電子帳簿保存 - 仕入伝票履歴] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 精算締め] メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 支払明細書] メニュー

仕入確定する際にリレー元の納品期日を仕入日付にしたい

発注伝票・納入予定から仕入伝票に一括でリレーする際に、仕入日付にリレー元の納品期日を複写できるようになりました。

[仕入確定 - 条件設定] 画面の [基本] ページで、仕入日付に「納品期日を複写する」を選択します。

対応メニュー

[仕入管理 - 仕入処理 - 仕入伝票] メニュー

仕入先元帳で出力する精算先が「すべて」の場合でも、締日区分で絞り込みをしたい

[仕入先元帳 - 条件設定] 画面の [基本] ページで精算締日コードを指定した場合は、[詳細] ページの「出力する精算先」が「すべて」になっていても、[\[仕入先\]メニュー](#)の [精算] ページの精算締日で絞り込みできるようになりました。

対応メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入先元帳] メニュー

[仕入債務残高一覧表] メニュー・[債務残高一覧表] メニューで、前払金額を考慮しない債務残高を確認したい

[\[仕入債務残高一覧表\]メニュー](#)・[\[債務残高一覧表\]メニュー](#)で、前払金を債務残高から減らすタイミングを設定できるようになりました。

今までは、前払金が発生したタイミングで繰越残高・債務残高から前払金額分が減っていましたが、前払金が充当されたタイミングで前払金額分を減らすこともできるようになりました。

これにより、前払金を考慮しない繰越残高・債務残高も確認できるようになり、より運用に合わせた残高管理ができるようになります。

確認するには、[条件設定] 画面の [基本] ページで、前払金集計基準を充当时に設定します。

対応メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表] メニュー

[債務管理 - 管理帳票 - 債務残高一覧表] メニュー

帳票に削除済みマスターを集計したくない

[条件設定] 画面の [基本] ページで、「金額（数量）が 0 の削除済みマスターを除いて集計する」にチェックを付けます。

対応メニュー

[仕入管理 - 管理帳票 - 仕入債務残高一覧表] メニュー

[在庫管理 - 棚卸処理 - 実地棚卸] メニュー

[在庫管理 - 棚卸処理 - 在庫締め] メニュー

[在庫管理 - 管理帳票 - 在庫一覧表] メニュー

[在庫管理 - 管理帳票 - 欠品リスト] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 管理帳票 - 過剰在庫リスト] メニュー（『入出荷管理オプション for 蔵奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[在庫管理 - 管理帳票 - 在庫推移表] メニュー（『Bシステム』または『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

[債務管理 - 管理帳票 - 債務残高一覧表] メニュー

[債務管理 - 管理帳票 - 前払金残高一覧表] メニュー

在庫管理

入荷確定する際にリレー元の納品期日を入荷日付にしたい

納入予定を入荷確定する際に、入荷日付にリレー元の納品期日を複写できるようになりました。

[入荷確定 - 条件設定] 画面の [基本] ページで、入荷日付に「納品期日を複写する」を選択します。

対応メニュー

[在庫管理 - 入荷処理 - 入荷確定] メニュー

[実地棚卸] メニュー・[在庫締め] メニューで商品区分・倉庫区分を出力したい

[条件設定]画面の[項目選択]ページで、「商品区分コード」「商品区分名」「倉庫区分コード」「倉庫区分名」を選択して出力できるようになりました。

対応メニュー

[在庫管理 - 棚卸処理 - 実地棚卸]メニュー

[在庫管理 - 棚卸処理 - 在庫締め]メニュー

債務管理

支払予定額が 0 の場合でも、支払予定を確定したい

当月の仕入がなく支払予定額が 0 の場合でも、精算締めをすることで支払予定を確定できるようになりました。

当月の支払予定を確定することで、[\[支払予定表\]メニュー](#)で「最新の支払予定にまとめる」にチェックを付けて集計する際に、前月までの未支払額を当月の支払予定額として集計できます。

例

未締め、翌20日払いの精算先

精算期間	仕入	支払予定
4/1 ~ 4/30	10,000 円	5/20 10,000 円
5/1 ~ 5/31	なし	6/20 0 円

4月の精算分が未支払の場合

5月の支払予定を確定するかによって、[\[支払予定表\]メニュー](#)で「最新の支払予定にまとめる」にチェックを付けて集計した際の支払予定日の表示が変わります。

- 確定しない場合 **5/20** 10,000 円 として集計されます。
- 確定した場合 **6/20** 10,000 円 として集計されます。

支払予定額が 0 の場合でも支払予定を確定する場合は、[精算締め - 条件設定]画面の[詳細]ページで、「精算期間内に仕入明細がない精算宛先の支払予定」を「確定する」に設定して精算締めをします。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 精算締め]メニュー

支払明細書の仮発行で一度に 100 件以上発行したい

一度に 5,000 件まで仮発行できるようになりました。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 支払明細書]メニュー

親子請求の支払明細書で、内訳の出力順を仕入先コード順にしたい

[支払明細書 - 条件設定]画面の[出力順]ページで、「内訳の出力順」を設定できるようになりました。

追加項目	選択肢
内訳の出力順	<ul style="list-style-type: none">• 精算宛先を優先して並べる 精算宛先（親）を先頭に出力します。（今までどおりの出力順）• 仕入先コード順で並べる 親と子に関わらず、仕入先コード順に出力します。

対応メニュー

[債務管理 - 精算処理 - 支払明細書]メニュー

【支払予定変更】メニューで、伝票単位で支払予定を表示したい

【支払予定変更 - 条件設定】画面の【基本】ページで、支払予定の表示単位を「支払予定」「債務伝票」から選択できるようになりました。

表示単位が「債務伝票」の場合は、以下も可能となり、伝票単位での支払予定の確認・変更がスムーズに行えます。

- 債務日付・精算日付・伝票No.など、債務伝票の項目での絞り込み（【支払予定変更 - 条件設定】画面の【基本】ページで設定）
- 債務日付・精算日付・伝票No.など、債務伝票の項目の出力（【支払予定変更 - 条件設定】画面の【項目選択】ページで設定）
- 債務日付・精算日付・伝票No.での並べ替え（【支払予定変更 - 条件設定】画面の【出力順】ページで設定）

対応メニュー

【債務管理 - 精算処理 - 支払予定変更】メニュー

銀行振込データのリストを出力したい

[【銀行振込】メニュー](#)で銀行振込データをExcelに出力できるようになりました。

画面左上にある（クイックExcel）をクリックして出力します。

対応メニュー

【債務管理 - 支払処理 - 銀行振込】メニュー

【銀行振込】メニューで出金先コードを出力したい

【銀行振込 - 条件設定】画面の【項目選択】ページで、以下の項目を選択し、出力できるようになりました。出金先コードは、「振込先コード」で出力できます。

銀行振込明細	振込先コード・振込先名・振込先事業所名・振込先略称・仕入／精算先区分1～5（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10）
支払伝票	仕入／精算先区分1～5（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10）
手数料伝票	仕入／精算先区分1～5（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10）

対応メニュー

【債務管理 - 支払処理 - 銀行振込】メニュー

銀行振込データを精算先区分順に表示したい

[【銀行振込】メニュー](#)・[【銀行振込一覧表】メニュー](#)の画面上で、各項目のをクリックすると、その項目で画面上のデータをソート（並べ替え）・フィルター（絞り込み）できるようになりました。

画面上でデータをスムーズに確認できます。（画面上のソート・フィルターは、作成するFBデータやExcel出力には反映しません。）

また、[【銀行振込一覧表】メニュー](#)では、集計軸項目として以下が追加されました。

- 仕入／精算先区分1～5（出金先区分1～5）
（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10（出金先区分1～10））
- 仕入／精算先区分1～5（振込先区分1～5）
（『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合は、仕入／精算先区分1～10（振込先区分1～10））

この変更に伴い、集計軸項目の名称が変更されました。

変更前 振込先口座 **変更後** 振込先

（集計軸の対象は今までと変更ありません。「振込先」を指定すると振込先口座で集約されます。）

また、集計軸項目に「振込先」を指定した場合は、集計軸の列に「口座名義」「振込先」のどちらかを出力するかを選択できるようになりました。「振込先」を選択すると、仕入先略称／精算先略称を出力できます。

対応メニュー

【債務管理 - 支払処理 - 銀行振込】メニュー

【債務管理 - 管理帳票 - 銀行振込一覧表】メニュー

【支払集計表】メニューに、支払種別ごとの支払額を確認できる出力項目を追加

[【支払集計表】メニュー](#)に、「支払額（銀行振込）」「支払額（電子記録債権）」などの項目が追加され、「総支払額」を各支払種別ごとに確認できるようになりました。

確認するには、【支払集計表 - 条件設定】画面の【出力】ページの出力項目で「支払額（〇〇）」項目を選択します。

対応メニュー

【債務管理 - 管理帳票 - 支払集計表】メニュー

業務連携

勘定奉行

伝票の登録や承認と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票したい

『勘定奉行クラウド』の【業務連携入力】メニューで仕訳伝票を確認して起票する手順を、省略できるようになりました。

これにより、債務伝票・支払伝票・他勘定振替伝票の登録と同時に、『勘定奉行クラウド』へ仕訳伝票を起票できます。伝票の承認機能を使用している場合は、承認と同時に仕訳伝票が起票されます。

仕訳伝票を確認して起票する手順を省略するには、『勘定奉行クラウド』の【業務連携入力】メニューで対象データを選択し、（設定）をクリックまたは[F3：設定]を押し、【基本】ページの「仕訳伝票の起票」設定を「〇〇仕訳の計上と同時に起票する」にします。

なお、ダッシュボードや[【〇〇仕訳連携】メニュー](#)から仕訳連携をしている場合は、仕訳伝票を確認して起票する手順だけを省略することもできます。

設定ごとの流れについては、目的から探す「[仕訳伝票を起票するまでの流れ](#)」をご参照ください。

対応メニュー

『勘定奉行クラウド』の【財務会計 - 取引入力 - 取引入力 - 業務連携入力】メニュー

ダッシュボード「本日までの仕訳未作成」カードの各伝票

【在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 他勘定振替仕訳連携】メニュー

【在庫管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 棚卸仕訳連携】メニュー

【債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 購入債務仕訳連携】メニュー

【債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 支払仕訳連携】メニュー

仕訳伝票作成で連携不要なマスター情報の削除に対応

『勘定奉行Smart/勘定奉行11』との連携で、連携不要になった未使用の補助科目などのマスター情報を削除できるようになりました。

対応メニュー

【債務管理 - 奉行連携 - 仕訳伝票 - 仕訳伝票コード設定】メニュー

汎用データ作成

【汎用データ作成】メニューの条件設定をパターンとして登録したい

【データ作成条件設定】画面の【パターン作成】ボタンをクリックすると、作成条件をパターンとして登録でき、次回以降も同じ条件で作成できます。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー

【汎用データ作成 - 取引先管理 - 直送先データ作成】メニュー

【汎用データ作成 - 商品管理 - 発行コードデータ作成】メニュー

【汎用データ作成 - 商品管理 - 発注検討方法データ作成】メニュー

[汎用データ作成 - 商品管理 - 債務連携データ作成] メニュー（『債務奉行クラウド』をご利用の場合）
[汎用データ作成 - 商品管理 - 構成データ作成] メニュー（『Sシステム』または『奉行V ERPクラウド』をご利用の場合）

- [汎用データ作成 - 商品管理 - セット商品データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 価格管理 - 取引単価データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 価格管理 - 算出価格データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 価格管理 - 棚卸資産評価方法データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 価格管理 - 在庫単価データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 在庫管理 - 実地棚卸データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 在庫管理 - 在庫残高データ作成] メニュー
- [汎用データ作成 - 債務管理 - 支払情報データ作成] メニュー

汎用データ受入

仕入伝票データの支払予定を受け入れる際に、支払方法や支払予定日だけを指定して受け入れたい

今までは、支払予定を受け入れる際は、支払方法・支払予定日・支払予定額の3つが必須でしたが、[\[仕入先\]メニュー](#)の[精算] ページで支払サイト1が設定されていれば、支払方法・支払予定日のいずれかだけで受け入れできるようになりました。

- [\[仕入先\]メニュー](#)で支払サイト2・支払サイト3が設定されている場合（支払サイトを分割する設定の場合）は受け入れできません。（金額による条件分岐には対応しています。）
- [\[仕入先\]メニュー](#)の支払サイト1が未設定の場合は、支払方法・支払予定日が必須です。支払予定額の指定は不要になりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から以下のメニュー
[汎用データ受入 - 仕入管理 - 仕入伝票データ受入] メニュー
[汎用データ受入 - 債務管理 - 債務伝票データ受入] メニュー

『蔵奉行Smart/蔵奉行11』の仕入先データの受け入れで支払方法を受け入れたい

支払種別と会社銀行（銀行振込・手形・電子記録債権の場合）をもとに判断し、支払方法がセットされるようになりました。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から [汎用データ受入 - 取引先管理 - 仕入先データ受入] メニュー

『奉行Smart/奉行11』のOBC受入形式の支払伝票データを受け入れたら、支払伝票も自動で登録したい

『奉行Smart/奉行11』のOBC受入形式で作成した支払伝票データを当サービスの[\[支払情報データ受入\]メニュー](#)で受け入れると、支払情報と支払伝票が登録されるようになりました。

今までは、受入後に支払情報から支払伝票を作成する必要がありましたが、その手間がなくなりました。詳細は、目的から探す「[『奉行Smart/奉行11』のデータを受け入れる場合](#)」をご参照ください。

対応メニュー

メインメニュー右上の（データメンテナンス）から [汎用データ受入 - 債務管理 - 支払情報データ受入] メニュー

その他

メニュー構成・メニュー名を変更

構成品・セット商品・ロット

変更前	変更後
<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [商品]- [構成品] メニュー	<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [構成品]- [構成品] メニュー
<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [商品]- [セット商品] メニュー	<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [セット商品]- [セット商品] メニュー
<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [商品]- [ロット] メニュー	<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [ロット]- [ロット] メニュー

単価・価格

変更前	変更後
<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [価格]- [単価] メニュー- [価格] メニュー	<p>[価格管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [取引単価]- [取引単価] メニュー- [算出価格] メニュー

棚卸資産評価方法・在庫単価

変更前	変更後
<p>[商品管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [在庫]- [棚卸資産評価方法] メニュー- [在庫単価] メニュー	<p>[価格管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [在庫単価]- [棚卸資産評価方法] メニュー- [在庫単価] メニュー

〇〇伝票履歴

変更前	変更後
<p>[仕入管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [管理帳票]- [仕入伝票履歴] メニュー	<p>[仕入管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [電子帳簿保存]- [仕入伝票履歴] メニュー
<p>[在庫管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [管理帳票]- [出荷指示履歴] メニュー	<p>[在庫管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [電子帳簿保存]- [出荷指示履歴] メニュー
<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [管理帳票]- [債務伝票履歴] メニュー	<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [電子帳簿保存]- [債務伝票履歴] メニュー
<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [管理帳票]- [支払伝票履歴] メニュー	<p>[債務管理]</p> <ul style="list-style-type: none">- [電子帳簿保存]- [支払伝票履歴] メニュー

メニューを選択する際の視認性と操作性を向上

メインメニューで第 1 階層を選択したときの、第 2 階層のメニューの展開方向が変わりました。

第 2 階層が右側に表示されるようになり、第 2 階層を見ながら第 1 階層のメニューを選択できるようになりました。

なお、サービス起動後初回は、第1階層のメニューを選択すると前回最後に起動していたメニューまで展開され、作業していたメニューをスムーズに起動できるようになりました。



(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

文字と背景色のコントラスト比とフォーカス表現を調整

視認性向上のため、文字と背景色のコントラスト比を調整しました。また、フォーカス表現を破線から実線に変更しました。

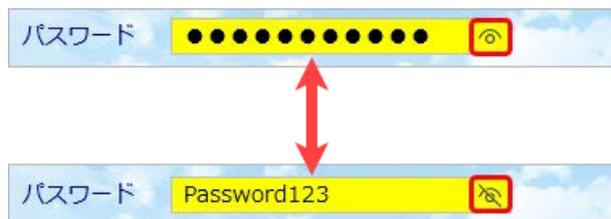


(画面は、『勘定奉行クラウド』の画面です。)

パスワード可視化機能とCapsLock判定機能を追加

パスワードを入力できるすべての画面に、一律、以下の機能を追加しました。

- パスワードを表示できるようになりました。
目のアイコンをクリックすると、パスワードの表示/非表示を切り替えられます。



- [CapsLock] キーがオンになっていることに気づけるよう、『管理ポータル』などのWebアプリでも、メッセージが表示されるようになりました。

利用者種別	2	利用者 (メニュー権限: フルコン)
パスワード	0	次回以降: CapsLock キーがオンになっています

内容については、変更または次回以降へ延期する場合があります。